

③ 打ってはいけない!

子宮頸癌ワクチンの重篤な副反応(副作用)が問題になっています。

子宮頸癌の原因であると言われている発がん性の高いHPV(ヒトパピローマウイルス)は15種類あります。しかし、現在日本で打たれている2種類のワクチン(サーバリックスとガーダシル)はその中の2種類(HPV16型・18型)にしか効果がありません。日本の一般女性がその2種類に感染する確立は16型が0.5%、18型が0.2%で合わせて0.7%。つまり99.3%の人は最初から感染しません。感染しても90%は自然排出されるので、持続して感染する女性は0.07%になります。しかも、軽度異形成(前がん病変)の90%が自然治癒することが分かっていますから、中・高度異形成になる女性は0.007%ということになります。仮に、中・高度異形成になったとしても、定期的な細胞診とHPV-DNA検査で発見率はほぼ100%。適切な治療をすれば100%治癒すると厚生省の局長が議会で答弁しています。しかも、このワクチンの効果は10年もないことは製薬会社が認めているのです。要するにワクチンを打つ必要性など、全くないのです。

一方で重篤な副反応は酷いものです。失神、嘔吐、関節をはじめとする全身の激痛、記憶障害、運動機能障害、睡眠障害、味覚障害、記憶障害、計算障害、不随意運動、痒み・・・人によって色々ありますし、その症状が出るのも不定期です。ワクチンによる副反応だと分からず、病院を点々とした例が多くありました。5月にテレビで副反応の女の子が紹介されると「家の子と同じです!」という反応が数百という単位であったそうです。

我が新座市でも中三の女の子が3回目の予防接種から21日目に失神しました。そして、全身の激痛が始まりました。大人は子ども達をこのワクチンの危険から守らなくてはなりません。悲劇をこれ以上増やしてはいけません。そして、我々は被害にあった子ども達の治療法を確立する為にできる限りの事をしなくてはならないのです。

2013年5月31日発行



6月4日(火)総合運動公園で「新座ひまわりプロジェクト」の種まきに参加しました。福島と繋がるプロジェクトが早速実現したのです。9月の収穫が今から楽しみです。③

たかやんのプロフィール



本名たかむらともや。

教育を語らせたら、止まらない男。新宿区立西戸山小中学校。都立石神井高校を経て北海道大学へ。

新座五中・六中・二中で21年間理科、数学、国語、英語などを教え、学級通信を毎日発行する。

五・六中の男女硬式テニス部を率いて、関東大会5回、全国大会2回優勝。

2012年2月、2218票で当選。新しい会派「市民と語る会」を結成。文教環境常任委員長。

2004年から議員日記は9年4ヶ月毎日更新し、議会報告を毎月発行している。

毎月、ひばりヶ丘、東久留米、保谷、新座、志木、等で5時半過ぎから駅立ちをしている。

「たかやん塾」塾長。小中高生の脳を鍛えることに生きがいを感じている。

テニスマンである。現在、糖尿病と格闘しながら、毎日5キロ走りテニスで日本一を目指している。好きな女優はハン・ヒョジュ。母と一緒に韓国ドラマを見ながらよく泣く男である。③

たかやんの応援団 で 検索

③ そんなのありかよ！！

保谷・朝霞線について国が27m 4車線で国道254号まで延伸しないと認可しないとやってきたから、やっぱり27mにする」と3月議会で答弁した市長でしたが、地域住民が5月1日に国交省や県に出向き、話を聞いてみると、そういう事実はないということが分かりました。国は県からは相談もされていない。県も国と相談や協議をしたことはない。そう言っているのです。この6月議会で、僕の質問に対して「都市計画道路を認可するのは国なんです。地域の方が反対したって、変わることはありません」保谷・朝霞線は県道なんです。市議会で幅員を議論したって意味ないんです！」そういう言い方をする市長には本当にガッカリしました。

地域住民には「20mで行きます。大丈夫です！」と約束をしておきながら、「国がやってきたから」そして今度は「県が決定したから」27mにしようというのですから、そんなのありかよ！！と叫びたくありません。一体誰の為の道路なのでしょう。

住民投票にも否定的な市長。一番大事なものは地域住民の思いなのではないのでしょうか。

東久留米・志木線は5年で完成の予定が10年経っても完成のめどすら立っていません。このまま行くと、保谷・朝霞線も危ないと思います。地域住民の力を無視すれば、半永久的に保谷・朝霞線はできないでしょう。「財政難」を理由に色々カットしている埼玉県と新座市が、五中の校庭や体育館を削り、野寺・道場地区を分断してまで、やらなければいけない事業だとは思えないのです。



僕の大親友、角ちゃんです。六中のテニス部を救ってくれた恩人です。五中、三中、六中で子ども達に愛された先生です。池袋でのツーショットです。

③ ダイヤモンドシックス



6月9日(日)の日曜議会での議場コンサートは本当に素晴らしいものでした。写真は埼玉大学OBの「ダイヤモンドシックス」です。笑顔も素敵でしたが、歌はダイヤモンド以上に輝いていました。小さい頃から音楽が大好きで、歌が大好きで、子ども達の前でギターを弾いて歌ってきた僕ですが・・・ダイヤモンドシックスの歌を聴いたら、もうウットリでした。しかも、メンバーの一人、ヴィーカルの女性が新座市役所の方だと知って感動しました。北大に行ってテニスをしたことに後悔はありませんが、埼大に行ってダイヤモンドシックスのような歌を歌う手もあったなあ。そんなことを考えるくらい、僕は感動したのでした。ダイヤモンドシックスのみなさん。また来て下さいね！一度でいいから、ダイヤモンドシックスと一緒に歌ってみたいなあ。

③ 冷てえなあ・・・

6月3日の議会の初日、「生活保護費の引き下げに反対」の意見書提出を求める請願書に反対したのが自民党、公明党、翠生会の市長与党のみなさん。国会議員が大企業から献金を頂くと、弱者には目もくれなくなる・・・それは分からないでもありませんが、市議会で弱者に目を向けない冷たさには驚きます。

政治は弱い人の為にあるべきだ。僕はそう思っています。強く、お金持ちの為の政治は楽で、居心地がいいかも知れません。でも、それは誰にでもできる仕事です。僕は人種差別(新大久保のヘイトスピーチが酷い)と弱い者苛めは昔から大嫌いなのです。生活保護費の引き下げは弱い者苛め以外のなにものでもありません。

読み終わりましたら、お知り合いの方にさしあげてください！ m(__)m